

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2022 年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

ただし、不正スタートは 1 回目以降した者を失格とする。

2. 札幌円山陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 練習場所については本競技場にサブトラックがないため、トラック外側のスペースを使用してよい。ただし、ホームストレートの使用は禁止する。また、トラックを使用しての練習は競技開始の 15 分前までとする。

3. アスリートビブスについて

- 1) 学連に登録した競技者は、各自の学連ビブスを使用する。まだアスリートビブスを受け取っていない競技者には、受付の際に団体ごとに学連ビブスを取りに来ること。
- 2) 腰ナンバーカードは各校が用意したものを使用する。個人トラック種目出場者については右側にのみつける。
- 3) 男女 5000m、5000mW の出場者は 1 次点呼の際に配布するアスリートビブスを体の前後につける。レース終了後、決勝点付近で速やかに回収する。
- 4) 女子 5000mW に出場する競技者は自身のレーンナンバーに 10 を加えたものをアスリートビブスとして使用する。

4. 点呼について

- 1) 競技者は競技開始 40 分前までに 1 次点呼を完了し、競技開始 20 分前までに各競技開始場所に直接集合すること。
- 2) 1 次点呼場所は、100m スタート地点後方に設ける。
- 3) 男女 5000m では、シューズの厚さ検定とレーンナンバーの書かれたビブスの配布をもって 1 次点呼とする。
男女 5000mW では、レーンナンバーの書かれたビブスの配布をもって 1 次点呼とする。
その他の競技では、1 次点呼場所にて掲示されたスタートリストへの○付けを完了することで 1 次点呼とする。
- 4) 1 次点呼を指定された時刻までに完了しなかった、または指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は、当該種目を棄権したものとみなされ当該競技種目に出場できない。

5. シューズについて

- 1) 各競技者は日本陸上競技連盟競技規則 TR5 に基づいたシューズを着用すること。

以下の表は日本陸上競技連盟陸上競技規則より抜粋した靴底の最大の厚さである。これ以上の厚さのシューズで出走することはできず、仮に基準より厚い靴で競技を行った場合は競技規則に基づいて失格となるので注意すること。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
障害物競争を含む 800m 以上のトラック種目	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
競歩種目	40 mm	

2) 靴底の厚さ計測を行うため、男女 5000mに参加する競技者は全員必ずレースで使用するシューズを1次点呼場所に持参し、シューズの厚さ検定を受けること。1次点呼を兼ねているため、検定を受けなかった場合は棄権として処理されるので注意すること。

6. 棄権について

大会当日、やむなく棄権する場合は、棄権届けに必要事項を記入し、競技者係と本部へ提出すること。棄権届けは大会受付にあるので、取りに来ること。

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。

8. 競技の抽選・番組編成について

トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はアスリートランキング記載の順による。

9. トラック競技について

すべて写真判定とするが、万一機器が故障した場合は、手動計時に切り替えて継続する。

10. 助力について

競技者への助力については、TR6に則り規制される。これに抵触する場合は、審判長から注意・警告を行う。是正されない場合は、種目から除外される場合もある。

11. 抗議について

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表(アナウンス)されてから 30分以内に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金 10,000円を添えて上訴する。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
- 3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

12. その他

- 1) 競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。※役員・補助員による運搬は行わない。
- 2) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品等については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- 3) 競技中の事故等による身体の故障の場合、応急処置を行うが、その後の治療等は本人負担とする(競技者保険の適用)。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わない。
- 4) **大会期間中に出たゴミは、必ず各自で持ち帰ること。**
- 5) 競技者(選手)がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられる場所からの撮影は禁止する。また、撮影をしている場所によっては不審と判断された場合、競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。
- 6) 不審者等を目撃した場合、大会本部まで連絡すること。
- 7) その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。